

Zoom・online

リスクマネジメント無料相談のご案内

リスクマネジメントに関わる無料相談をオンラインで実施しています。事故を巡る家族トラブルや虐待の疑いなどのトラブルが発生して、対応策で悩んでいる会員法人や施設の方はご活用ください。介護福祉のリスクコンサルタント安全な介護代表の山田滋氏が、直接お話を伺いして対応方法などアドバイスをいたします。

家族トラブル・事故トラブル・ヘビークレーム 介護事故などのトラブルは早期対応が肝心！

無料相談実施要領

お任せください！



- 相談日：毎月所定の相談日（相談希望日の7日前までにお申し込みください）
詳しくは予定表からご確認ください→<http://tiny.cc/hh7jxz>
- 相談時間：1回30分程度
- 対象：事故や虐待などトラブルを抱える施設の方
（管理者に近い方がご相談ください）
- 相談者：株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 相談方法：Zoomによるオンライン相談（お申し込み後に接続URLを送ります）
- 申し込み方法：URLからお申し込みください。<https://bit.ly/3wFLovi>

過去の相談事例

- 軽度認知症の利用者が入居者が行方不明
日曜日の朝、軽度認知症の入居者が行方不明になった。防犯カメラをチェックしたら、朝5時にエントランスから出て行くところが映っていた。家族には連絡したが「なぜ朝5時にエントランスが空いているのか？」と言われた。家族はこちらに向かっていてどう対応したら良いか？
- 「目の上のアザは殴られてできた可能性がある」と通報
突然役所から館長に電話があった。「そちらの施設の入居者Kさんの目の上にアザがあり、本人は殴られたと言っている、という通報があった。調べて報告してください」と言ってきた。統合失調の入居者で良く訴えがあるが、職員が役所に通報したのかもしれない。どのように対応したら良いか？
- 誤えん死亡事故が立て続けに2件発生
2ヶ月続いて誤えんの死亡事故が2件発生。今のところ家族から賠償請求は無いが、家族にはどのように対応したら良いか？また、職員は自分たちの対応に落ち度があったのではないかと、自信を失っている。事故防止及び事故発生時の対応について検証して、やるべき対策を明確にしたい。
- 「発作に気付かなかった職員の責任だ！」
朝食後からテレビの前で過ごしていたMさん。話しかけてもはっきりした応答が無く、眠そうにしている。相談員は「そっとしておこう」と話しかけずにいたが、昼食前になって訪問介護のヘルパーが異変に気づき救急搬送。家族は「脳梗塞の発作に気付かず重症になったのは職員の責任だ」と賠償を請求してきた。

相談者プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

※相談に関する秘密は厳守いたしますのでご安心ください。

無料相談に関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp